

愛媛大学大学院医学系研究科
看護学専攻
博士課程（前期・後期）

Ehime University Graduate School of Medicine
Nursing and Health Science Course
Master's Program in Nursing
Doctoral Program in Nursing

2023

自ら学び、考え、実践する能力と次代を担う誇りをもつ
看護職のリーダーを輩出する



博士前期課程(修士) ※募集人員10名



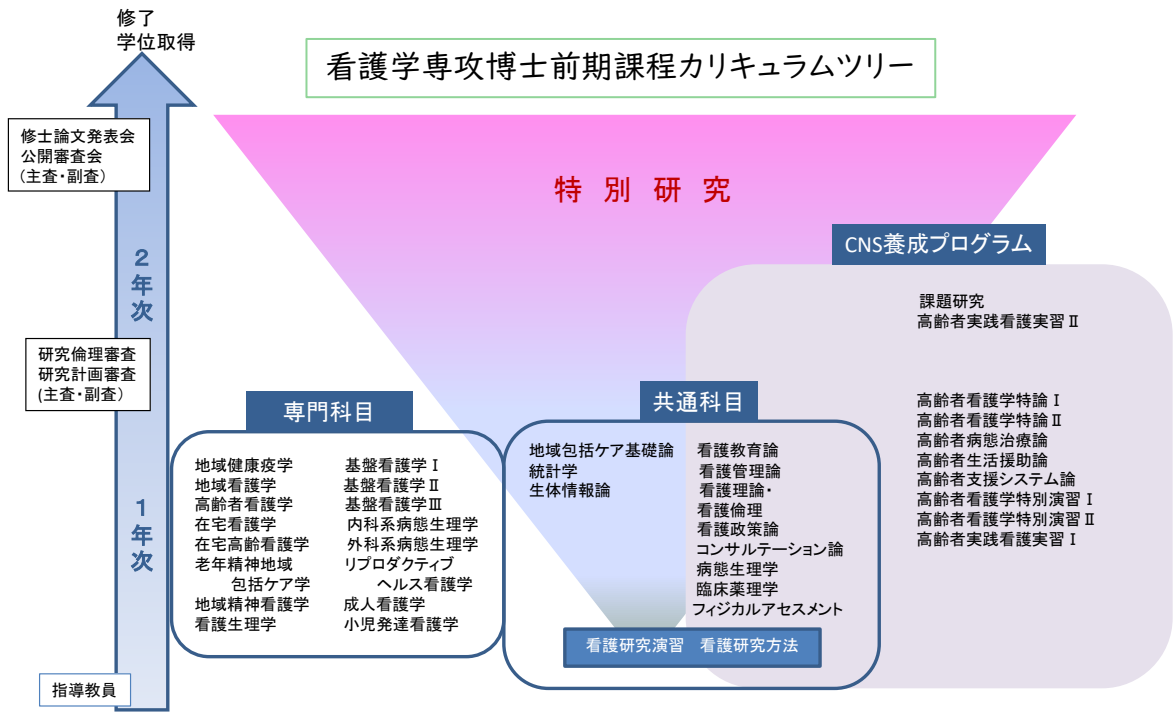
博士前期課程における
アドミッションポリシー

看護の対象となる人々への深い洞察力、幅広い視野と柔軟な思考力そして高い倫理観をもち、地域包括医療の中で高度な実践、質の高い研究マインドを持つ人材を育成

看護・保健・医療における課題に取り組み、自由で先進的な考え方のできる人材を求めています。特に看護職者に限定しておらず、積極的な意欲のある学生を受け入れています。

1. 看護学の各専門領域における知識や技能の修得、看護実践や看護学の将来に対する積極的な姿勢と展望をもっている者
2. 看護学の発展に寄与し看護実践、教育指導、研究能力を高めるために主体的、建設的に学ぶことを目指す者
3. 将来にわたり自立して看護学の研究活動の継続を目指す者
4. 保健、医療、福祉などの医療チームの中核となり、チームメンバーと協働する能力をもち社会に貢献できることを目指す者
5. 人間に対するより深い愛情と洞察力をもち、支援者として成長が期待できる者

看護学専攻博士前期課程カリキュラムツリー



専攻の特色

- ① 専門性に合わせた授業科目の選択
- ② 老人看護専門看護師養成プログラムの設置
- ③ 丁寧な研究計画書の指導
- ④ 看護職のみならず多職種と共に学び研鑽し合える環境
- ⑤ 教育者としての一歩を踏み出すティーチングアシスタント制度の導入

修了の要件

博士前期課程に原則として2年以上在学し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を在学期間中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。課程を修了した者には、**修士(看護学)**の学位を授与する。

※老人看護CNS養成プログラムの場合は、実習10単位以上を含む40単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文を在学期間中に提出して、その審査及び最終試験に合格すること。

Message



福山智美
Fukuyama Satomi
令和3年度修了

自身の看護を振り返り、見つめ直すことで新しい世界が広がる

専門性の高い先生方の丁寧な指導や院生とのディスカッションを通じ、看護理論やモデルを基に看護を振り返ることで、看護師としてだけでなく自分自身を見つめ直し成長できた2年でした。また、看護管理や倫理など多角的な内容を学ぶことで、実習では複雑で困難な問題を抱える対象の方へ、少しずつですが広い視野を持ってアセスメントすること、患者家族にとって何が最善のケアなのか、医療チームで解決するために必要なことは何かを考えることへと発展させることができたと思います。一旦臨床から離れて学ぶことで得られる看護の景色があります。そして、同じ悩みを共有し、励まし合えた同級生との出会いは大きな収穫です。今後は、学んだことを臨床に生かした活動ができるよう目指していきたいと思っています。

博士後期課程（博士） ※募集人員2名

広範な学識と豊かな人間性を基盤に、先端かつ多角的な視点で看護問題を分析し独創的な方法で解決できる、地域包括ケアを牽引できる看護職リーダーを育成

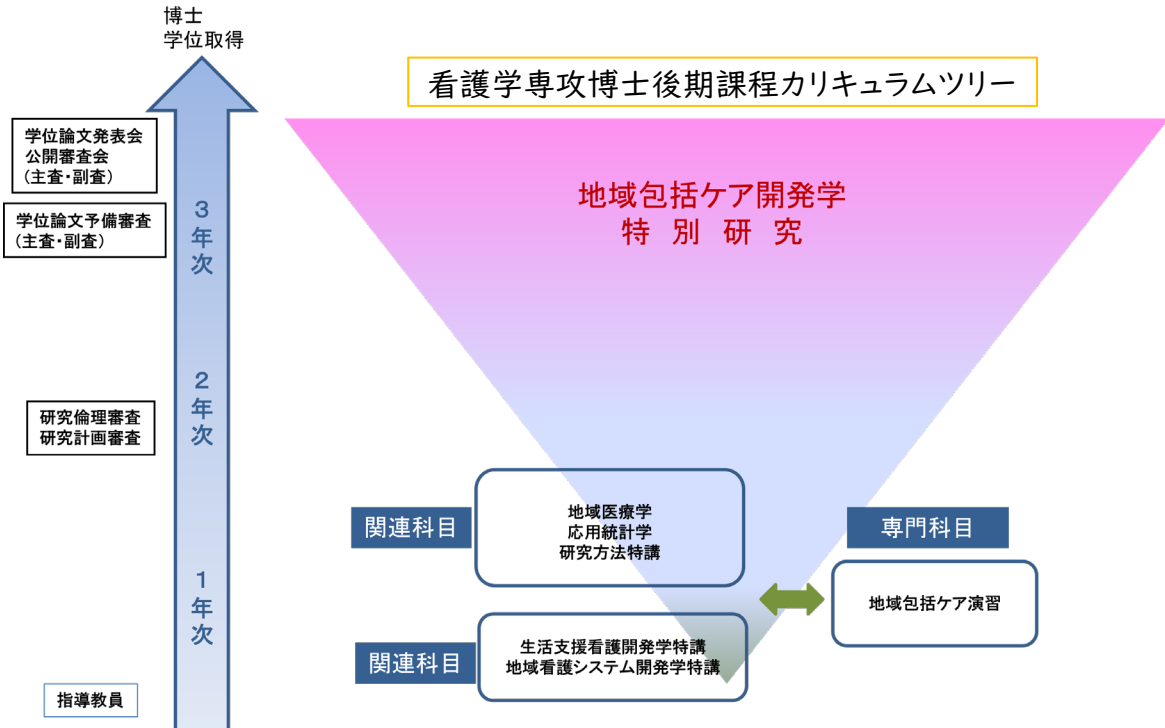
修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の知識や技能、能力、意欲を持つ学生を求めます。

1. 看護学領域の研究に強い関心を持ち、保健・医療・福祉の分野の専門的な知識を有する者
2. 国内外の文献を読み解く語学力と分析力を有する者
3. 教育・研究者としてのコミュニケーション能力、ならびに理論的思考力を有する者
4. 自ら問題意識を持ち自立的に研究に取り組める者
5. 研究をとおして地域包括ケアの構築に貢献する明確な意思を持つ者
6. 博士後期課程修了後に、地域包括ケアを牽引し、自らの実践領域における教育・研究をリードしていく明確なキャリア・ビジョンを持つ者

博士後期課程における
アドミッションポリシー

看護学専攻博士後期課程カリキュラムツリー

地域包括ケア開発学 特別研究



専攻の特色

- ①地域包括ケアリーダーとなる高度看護職の養成への一貫した教育方針
- ②地域包括ケア開発学のより専門的、かつ独創的な看護学研究を発展できるようなカリキュラムの構成
- ③主指導教員1名、副指導教員2名という複数教員による充実した研究指導体制
- ④愛媛大学地域協働センター中予東温拠点と連動し、教育・研究の質を確保
- ⑤充実した大学院生研究室の設置と研究環境

修了の要件

博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位14単位以上（専門科目の必修科目6単位、関連科目の選択科目2単位以上、特別研究6単位）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて学位論文を提出し、その審査および最終試験に合格すること。課程を修了した者には、**博士（看護学）**の学位を授与する。

Message

母校で看護の原点に立ち返り、さらなる学びと探求ができる



竹下裕子
Takeshita Hiroko
令和2年度入学

私は本学看護学科を平成11年に卒業（2期生）し、現在は看護教員として勤めています。看護職に就いて20年が経過し、子育てに一息つけたと思えた時、自分が看護職として折り返し地点を過ぎたことを自覚しました。現状を振り返ると、私には看護の原点を見つめ直す時間が必要だと感じていました。そのとき幸運にも母校に博士後期課程が開設されることを知り、進学を決めました。博士後期課程では、終わりの見えない問いに向き合い続けてゆくような、それは「考え抜く」ことにとことん没頭してゆくような感覚で、これまでにない充実した時間です。研究課題に取り組む過程では、看護学研究に精通された先生方が温かく見守りつつ具体的に進むよう導いてくださいます。私は大阪府在住ですが、距離を感じず自由に学ぶことが可能です。博士後期課程で、自らの研究成果を社会に発信していけるような力を身につけたいと思います。

●大学院を目指す方へ

令和4年度入学試験スケジュール

	1回目	2回目※
募集要項公表	7月	11月
入試説明会	6月	10月
資格審査申請*	7月末	11月末
出願	8月	12月
試験日	9月10日	2月4日
合格発表	10月7日	2月14日

※2回目の入試は、1回目の入試で定員に満たない場合のみ実施します。

*看護短期大学や看護専門学校等を卒業後、一定期間の臨床経験などの業績がある場合は、資格審査を受けることで、大学院受験の機会を得ることができます。

昼夜開講制

仕事を続けながら大学院進学ができるように、平日に6時限(18:00~19:30)、7時限(19:40~21:10)を設け、必要に応じて土曜日にも開講し、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)で修了できるように授業を行います。

長期履修制度

職業、家事、育児、介護などの事情をもつ学生のために、標準修業年限を超えた年数で履修できる制度です。授業料は、標準修業年限の学生が負担する額を、長期履修の期間で按分した額が年額となります。

遠隔授業の実施

遠方にお住まいの学生のために、Teamsを用いてオンライン授業を実施しています。通学に時間をとられないため、愛媛県外からの受講も可能です。

●入学者選抜方法

	選抜方法	受験資格	試験科目
博士前期課程	一般選抜	①大学卒業の者 または ②本学の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学する年の3月までに22歳に達する者(事前に資格審査があります。)	● 筆記試験 (外国語および小論文) ● 口述試験
	社会人特別選抜	一般選抜の受験資格を有する者で2年以上の勤務経験のある者 (老人看護専門看護師養成プログラムを希望する場合は、実務経験が通算5年以上必要です。)	● 筆記試験 (小論文のみ) ● 口述試験
博士後期課程	一般選抜	①看護師の免許を有する者 ②修士の学位または専門職学位を有する者および入学する年の3月までにその見込みがある者	● 筆記試験 (外国語のみ) ● 口述試験

●入学料および授業料

区分	納付金額
入学料	282,000円
授業料	267,900円(前期分) 535,800円(年額)



愛媛大学大学院
医学系研究科看護学専攻

〒791-0295 愛媛県東温市志津川
TEL:089-960-5868(大学院チーム)

愛媛大学ホームページ

<https://www.ehime-u.ac.jp/>

愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻/医学部看護学科ホームページ

<https://www.m.ehime-u.ac.jp/nursing/>